

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6 (5)	玄関の施錠は身体拘束にあたるので、職員が協力し合い、利用者を見守りながら、玄関、ホールへの扉を開錠できる時間帯を作る取り組みをしてはいかかがか。	開錠時間の確保、外出、散歩などの時間を作り閉鍵の軽減をはかる。	利用者様一人一人の立場に合ったプランを作成し、日々のケアに取り入れて実施出来るようにする。	3ヶ月
2	36 (14)	異性介助になる場合は、事前に「自分で良いですか」と了承を得るようにして、利用者の尊厳を守ろうとする思いが伝わり、信頼関係を築くことができるのではないかと。	利用者様の尊厳を大切にサービスを提供して行く。	事前に声掛けし承知して頂いてから支援して頂けるよう取り組む。	1ヶ月
3	45 (17)	前日に入浴した利用者にも「今日、入りますか」と声かけをし、いつでも入浴できることが利用者に分かり、本人が入る、入らないの選択をする機会を作ってはいかかがか。	利用者様に選択する機会を作り、尊厳を大切に生活を送れるよう支援する。	毎日声掛けを行うことを徹底し、利用者様が選択できる機会を作れるように取り組む。	1ヶ月
4	52 (19)	見当識障害等の認知症状がある利用者に対して、混乱が生じないよう時季に合った掲示物や物の設置位置を工夫し、大人らしい空間作りに取り組んではいかかがか。	使用者様が季節感を感じて頂けるよう、又掲示物についても、利用者様目線にする工夫をして行く。	季節に応じた利用者様に分かりやすい作品作り、掲示位置を見やすくした。	1ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。